

平成23年度募集 藤沢市市民活動団体提案協働事業 第1次審査通過事業

	事業名	団体名	企画概要	事業費 総額(円)	負担金 申請額(円)
1	地域貢献を目指す中高年層の 技術教育事業	ふじさわ団塊塾	1. 事業目的 (1) 団塊世代を含む中高年層の生きがい作りを目的に、電気電子技術に関する講座を開催する。 (2) 付与した技術は、地域への貢献に役立てる。例えば、急増する市内高齢者世帯を対象に、家庭内の電気設備・機器・IT等のトラブル解決に受講技術を適用する。 (3) 貢献活動は、既設の「便利屋」集団に加わり技術分野の需要に応ずることで実現する。 2. 事業内容 (1) 電気電子の技術講座は、教育環境の整った市内「湘南工科大学」に委託する。 (2) 講座の運営は、官学民の協働方式とする。	1,048,000	848,000
2	協働パソコン出前病院パート 2 事業	(特非) 湘南ふじさわ シニアネット	ITの活用で安全で安心に生活できる地域社会をつくることもとめられている。市民にとってパソコンでのインターネットの活用が益々重要であるが、パソコンの使い方がわからない、ネット利用の不安の問題をかかえているのが現状である。そのような問題の解決のために相談、診断を行う。パソコン出前病院と同時に「インターネット安全教室」、「Let'sふじさわ」を開催する事により総合的なパソコンの相談で快適で安心なインターネット環境を促進する。実際にトラブルをかかえているパソコンを持ってきて頂き、講義を開催している時間にパソコンの診断を行い、講座終了後に診断結果の説明・対応の指導・軽微な整備作業の実施をおこなう。	924,300	924,000
3	ジュニアライフセービング教室事業	(特非) 西浜サーフライフセービングクラブ	藤沢市は全国有数の海水浴場を有し、年間400万人を超える海水浴客が訪れている。しかし2007年には2名の中学生が溺死する事故が発生するなど、子供を含め多くの水難事故が発生している。また海に近接しているという立地にありながら、小中学生が海について学ぶ機会が非常に少ない状況にある。 そこで、ジュニアライフセービング教室では小中学生を対象とした、海の知識を学ぶプログラムを実施し、水難事故を減少させることを目的としている。事業内容は、希望する小中学校に基本的な海の知識及び安全管理に関する講演又はプールでの講習を16回及び一般・教職員等向けの講演会を1回開催する。	1,177,000	1,177,000
4	地域広報映像製作講座事業	(特非) 湘南市民メディアネットワーク	NPO法人 湘南市民メディアネットワーク（以下SCMN）は、青少年や一般・シニアまたNPO団体を対象に、学校や藤沢市と協働して映像制作講座を開講し多くの市民映像を生みだしたノウハウを活かし、藤沢市の地域プロモーションを目的に藤沢市内13地区内から選出した3地区で「地域広報映像製作講座事業」を開催し、市内外の方々に藤沢市各地域の魅力を再確認してもらうとともに受講者達に映像制作を通じて地域広報力を身につけてもらうことを目的としたワークショップを開催する。また、その成果物を藤沢サイネージや藤沢動画に掲載して地域を活性化させる。	1,670,000	1,670,000
5	eコマウェアを活用した自治会ポータルサイト構築支援事業	(特非) 湘南ふじさわシニアネット	防災科学技術研究所が提供し、“eコミ藤沢”・7地域経営会議でも利用している“eコマウェア”を活用した講座開催などを通じて、自治会のポータルサイト構築を支援する。 地域ポータルサイトを構築することによって、自治会の情報の常時共有化及び自治会というコミュニティの結束改善を図ることを目指すための支援を行う。 ※自治会の結束が強化されることにより、災害時等にも協力し合う体制が整うことが期待できる。 ※背景：藤沢市は長年に亘って自治会ポータルサイト構築を推進してきたが、2011年6月現在で自治会ポータルサイトを構築しているのは、市内470の自治会のうち全体の3パーセントにあたる14の自治会に留まっている。市の推進してきた施策を促進させる事を目指す。	1,012,000	898,000